

2019年12月12日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

Greentech Capitalの買収について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、本日、米国におけるサステナブル・テクノロジーおよびインフラストラクチャー分野でM&A助言のリーディング・ブティックであるGreentech Capital, LLC(グリーンテック・キャピタルLLC、以下「グリーンテック」)との間で、当社100%子会社であるNomura Holding America Inc.(ノムラ・ホールディング・アメリカInc.)を通じて、当社がグリーンテックを買収すること(以下「本件買収」)について合意しましたので、お知らせします。

本件買収により、当社は、グリーンテックが強みを有する分野の深い業界知識やノウハウをお客様に提供することが可能となります。また、グリーンテックは、当社が有する幅広い商品・サービスやグローバルなビジネス・プラットフォームを活用できるとともに、アジア市場でのビジネス展開の足がかりを獲得することになります。

本件買収は、関係当局の承認等を条件として、2020年3月31日の完了を見込んでいます。本件買収後、グリーンテックはブランド名を「Nomura Greentech(ノムラ・グリーンテック)」とし、米州インベストメント・バンキング傘下となります。ノムラ・グリーンテックは、当社の既存プラットフォームを活用し、グローバル・インベストメント・バンキングおよびグローバル・マーケットと密に連携しながら、お客様にとって最良のサービスを提供していきます。

当社執行役副社長 グループCo-COOの奥田健太郎は、「本件買収は、米州、欧州、アジアのお客様に世界最先端のサステナブル・テクノロジーを提供するという新たな道を切り開くもので、まさに当社スローガン『Connecting Markets East & West(アジアから世界へ、お客様の未来と市場をつなぐ)』を体現しています。また、グローバル・インベストメント・バンクとしてのビジネス能力強化および米州におけるプレゼンス拡大の重要なステップであると同時に、本日公表した『野村サステナビリティ研究センター』の設立*とあわせて社会の持続的な発展へのコミットメントを示すものです。」と述べています。

また、当社ホールセール部門長のスティーブン・アシュレーは、「本件買収は、気候変動対応に関する社会的ニーズの高まりやサステナブル商品を求めるお客様からの期待に応えるため、当社のサステ

ナブルファイナンスの能力を高めるというコミットメントに資するものです。グリーンテックが加わることで、ESG関連の引受業務やアドバイザリー業務がさらに強化され、多様化するお客様のニーズにこれまで以上に応えていくことが可能になります。」とコメントしました。

グリーンテックの創業者であるジェフリー・マクダモット氏は、「私たちのミッションは、M&Aと資本調達に特化したアドバイザーとして、この革新的変化の中で、世界中のお客様に最適な価値を創造することです。アジアは今後、最速で成長し最大の市場となることが見込まれ、私たちの知見が必要となることは明らかです。野村とパートナーになることで、今後も私たちの世界中のお客様の成長と利益拡大に貢献するサービスを提供していきます。」と述べています。

なお、本件買収による当社連結業績に対する影響は軽微です。

※ 2019年12月12日付ニュースリリース「『野村サステナビリティ研究センター』の設立について」をご参照ください。

<https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/etc/20191212/nicmr20191212.pdf>

<グリーンテックについて>

2009年創業、ニューヨーク、サンフランシスコおよびチューリッヒに拠点を置く。主にサステナブル・テクノロジーおよびインフラストラクチャー分野で財務・戦略アドバイザリーを提供するM&Aブティックとして、ESGを始めとする社会システムの根本的な変化への対応をサポート。グリーンテック独自の知見を提供し、イノベーター、既存プレーヤーおよび投資家間の橋渡しに貢献している。

以上